

(前頁から続く)

最後となりましたが、加藤理事長様をはじめ、役員の皆様方のご活躍に心から敬意を表し、「グループ わ」の皆様が、地域に根付いたボランティア団体として、ますますご発展されますよう心からお祈りいたします。

平成21年6月27日

(財)こうべ市民福祉振興協会  
専務理事 岸本 義一

#### 退任役員代表挨拶

前副理事長 藤田 勝

退任役員を代表しまして一言ご挨拶を申し上げます。それぞれの立場で任務を遂行して参りました私ども14名と事務局員2名は本日をもって、グループ わ の役職員を退任いたします。在任中、無事任務を果たしてこれたことは、皆様方のご厚情に支えられた結果であると、感謝いたしております。

設立10周年記念事業を行う年にお世話になり、「わ」の成り立ちや諸先輩方が「ボランティア」という行動の中で社会還元活動に真摯に取り組まれる姿勢に皮膚感覚で触れる機会に恵まれたことは私の大きな財産となりました。

私の在任していたこの2年間、積極的に外に出て多様な活動に取り組んでまいりました。これらの活動の中で感じたことは、「わ」に対する周囲の期待感の強さであります。期待されることは認知されることであり、それだけ責任が生まれることでもあります。法人格を取得して6年目、益々「社会還元センター」としての社会的使命は大きくなってきております。

先ほど、加藤理事長より示された「子どもの健全育成」・「高齢者の健康といきがいづくり」は、今年度の2本柱として具体的に取り組まれることと思えます。どちらも潜在的問題を抱えており、周囲からの期待感は、NPO活動法人の使命感にも連なるものであると考えます。この大きな課題に向かって、「グループ わ」が更に発展されますことと、21年度の役員の皆様方のご健勝とご活躍を祈念しまして退任の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

[前のページ](#)

#### 新役員の紹介

加藤勇治 理事長

「子どもの健全育成」と「高齢者の健康増進といきがいづくり」

引き続き理事長の重責を担うこととなりました。私達を取り巻く環境を改めて考えてみますとグループわに寄せられる期待の多くは次の2つの問題に集約されると思います。

1つは「子どもの健全育成の問題」です。昔と異なり核家族化が進み、祖父母と暮らした経験のない子どもがほとんどの世の中です。学校でも、家庭でも子どもがのびのび育ちにくい環境にあります。学校では教えられないことや昔ながらの日本の心を地域ぐるみで子どもに伝え学ばせなければならぬ状況にあります。また、昨年神戸で開催された環境サミットで環境問題が空前のブームとなりましたが、環境保全や省エネ対応の取り組みが今や一般家庭レベルで叫ばれています。「もったいない」の言葉が身につけている私達の世代が子どもたちにムダをなくすこと、環境保全の重要性を訴えつづけねばなりません。経験ゆたかな熟年世代の人たちが思いやりの心を持って子どもに係り、「子どもたちの健全育成」の輪に加わることが地域ぐるみで求められています。

2つ目の問題は高齢者の「健康といきがいづくり」の問題です。人々が長生きするようになり、急増する高齢者の健康づくり、いきがい作りの問題はいまや社会問題といえます。現在高齢者に普及しているグランドゴルフ、ローンボールといったニュースポーツが「健康増進、いきがいづくり」の定番ですが、高齢者自らの健康増進・いきがい造りのためにも要介助、要介護高齢者の手助けをすることが社会的に歓迎され、要請される時代となっています。

経験ゆたかなシルバー人材を擁するわの活動は今後ますます重要性を増すに違いありませんが、以上述べました「子どもの健全育成」と「高齢者の健康増進といきがいづくり」を事業運営の2本柱に据え、事業運営に当たってまいりたいと考えております。一人でも多くの方がボランティア活動に

(次頁へ続く)

[次のページ](#)